

(注) 氏名を自署する場合は、押印を省略することができる。

福井県敦賀市

- 1 視察日時 令和7年2月4日 午後1時30分から午後3時まで
- 2 視察先 敦賀市役所
- 3 視察項目 「奨学金300万円返済金支援（Uターン促進）事業」について
- 4 敦賀市概要

人口64,264人、面積251.41平方キロメートル

福井県の中央に位置する。日本海側に面しフェリーやクルーズ船が入港する漁業が盛んな港町。鉄道の町としても有名で京阪神・中京方面からのアクセスが便利。京都は1時間、大阪・名古屋は1時間半で行く事が出来る。さらに、昨年3月には新幹線が開通し、利便性が高まった。

歴史の町でもあり、北陸道の総鎮守気比神宮や敦賀城主大谷吉継が有名。

5 事業概要

敦賀市ホームタウン奨学金制度は、敦賀市に住み、働く方に対して、包括的に奨学金返還を支援する制度で、第一種 奨学育英資金貸付金、第二種 官民連携奨学金ローン返済支援、第三種 官民連携奨学金返還支援の3種支援制度によって構成されている。

6 視察内容

担当課長様より、敦賀市も多くの自治体がやっている奨学育英資金制度を令和5年度までやっていたが、今の制度のままでは県市外に行ってしまった若者達を敦賀市に戻すことが出来ないと判断したのが、新しい制度に踏み切ったきっかけとなったと説明いただいた。

第一種奨学育英資金貸付金について、今までは世帯所得が900万円までだったところ、300万円未満の方を対象とし、敦賀市が270万円を無利子で貸し付け、大学卒業後、29歳までに敦賀市に居住し、就職すれば全額返還免除。奨学生の審査も学校長の推薦書を踏まえ、所得要件等を確認するだけ。返還免除の審査は、敦賀市に居住・就業を証明する住民票・職場からの就業証明書等を添付した返還猶予兼免除願を確認するだけと簡素化した。

第二種官民連携奨学ローン返済支援は敦賀市独自の制度。敦賀市が選定する特定金融機関から奨学ローンの融資を受け、大学等を卒業後29歳までに敦賀市に居住し就業すれば、最大300万円を補助する制度。融資の審査は敦賀信用金庫の融資審査で、返済支援の審査は敦賀市に居住・就業を証明する住民票・職場からの就労証明書等を添付した補助金申請書を確認する。

第三種官民連携奨学金返還支援補助金も敦賀市独自の制度で、敦賀市民・市外者関係なく、市内の連携企業に正規就業した者に対して、当該企業と折半し、最大150万円を補助ただし、第一種・第二種を活用している者は除くと説明いただいた。

7 所感

現在本市においても、人口減少・少子高齢化が進み就労支援施策強化は最重要課題である。就労支援としての補助金制度を企業や金融機関と連携し、就労だけではなく少子高齢化対策などの複合的な施策となっている。3種類の制度の内、2種類は敦賀市民向けで、

1 種類は敦賀市外の方角への制度。大学や専門学校、就職で県市外に出た若者を敦賀市へ戻すための制度、若者支援対策の一助となることが最終目的で、申請等の簡素化も一緒に取り組んだ。と担当課長が熱く語っていたのが印象的であった。本市も今は、人口減少は横ばいではあるが、今後を見据えて今から取り組むべき案件だと強く思った。今回の視察は大変有意義なものであった。

富山県富山市

- 1 視察日時 令和7年2月5日 午前10時から午前11時30分まで
- 2 視察先 富山市役所
- 3 視察項目 「公共交通計画とその取組、LRTの有効性」
- 4 富山市について 人口 約41万人（米子市の約2.8倍）
面積 約1,241.7平方キロメートル（米子市の約9.4倍）

5 事業概要

富山市では、鉄軌道をはじめとする公共交通を活性化させ、その沿線に住居、商業、業務、文化等の都市の諸機能を集積させることにより、公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくりを実現するため、まちづくりの基本方針として、「公共交通の活性化」「公共交通沿線地区への居住推進」「中心市街地の活性化」の3つの柱を掲げられている。これまで富山市では、「富山市公共交通活性化計画」、「富山市総合交通戦略」「富山市地域公共交通連携計画」「富山市地域公共交通網形成計画」等により公共交通を活性化させてこられ、令和6年3月には「富山市総合交通計画」を策定され現在まで取り組んでおられる。

平成18年からは低床式車両を導入したLRT（ライト・レール・トランジット）ネットワークの形成に取り組む他、鉄道・幹線バス路線の活性化や、地域特性に応じた生活交通の確保として、市営コミュニティバス・地域自主運行バスへの支援・デマンド型乗合タクシーや生活バス路線確保への支援を行ってこられていた。大正2年に日本海側で初めて路面電車が運行して依頼、路面電車が公共交通で活躍していたが、平成18年には、利用者数が減少していたJR富山港線を利活用し、公設民営の考え方にに基づき日本初のLRTとして再生された。

この度の視察では、富山市が目指されているコンパクトなまちづくりの実現における重要な要素である、公共交通の活性化の中でも特にLRTネットワークの形成について主にお話を伺った。

6 視察内容

富山市では、少子高齢化の進行や環境負荷の低減を目的とした「コンパクトシティ政策」の一環として、公共交通ネットワークの強化に取り組んでいる。その中心的な施策の一つがライトレールの導入・運営であり、持続可能な都市交通のモデルケースとして全国的にも注目されている。

富山市では、従来の公共交通機関である路面電車やバスに加え、効率的な移動手段とし

てライトレールを導入した。その背景として以下の要因があった。

1) 人口減少と高齢化

2005年（平成17年）時点での富山市の人口は約42万人だったが、2023年には約39万人まで減少。65歳以上の高齢者割合は2020年に約30%を超え、今後も上昇が見込まれている。高齢者の移動手段確保が喫緊の課題となっていた。

2) 公共交通利用者の減少

1990年代以降、モータリゼーションの進展により自家用車の利用率が上昇し、バスや鉄道の利用者数は減少。鉄道路線の一部では採算が取れず、廃線の危機に直面していた。

3) 環境負荷の増大

自家用車の増加に伴い、交通渋滞や二酸化炭素排出量の増加が問題視されていた。公共交通の利用促進による環境負荷低減が求められていた。

このような課題を踏まえ、富山市は旧 JR 富山港線（富山駅北?岩瀬浜、全長約7.6km）を活用し、平成18年4月に「富山ライトレール」を開業させ、日本初の本格的なLRT事業として注目された。その特徴としては主に以下のものがあった。

(1) 低床式車両の導入

車両には、100%低床式（バリアフリー）車両を採用。車両の床面高さが低く、駅ホームと段差なく乗降できるため、高齢者やベビーカー利用者にも優しい設計となっている。

(2) 高頻度運行

運行頻度を従来の JR 富山港線時代の1時間1本から10～15分間隔に増便。利便性を大幅に向上させた。

(3) ICカード対応

富山市独自のICカード「えこまいか」を導入し、スムーズな乗車が可能に。JRの「ICOCA」や全国の交通系ICカードとの相互利用も実現。

(4) 運行本数と利用者数の増加

開業後、1日あたりの利用者数はJR時代の約2.5倍（約6,000人→約13,000人）に増加。利便性の向上が利用促進につながった。

また、令和2年3月には、富山地方鉄道市内電車との接続工事が完了し、「富山ライトレール」は富山地方鉄道と統合され「富山港線」として運行開始された。これにより、富山駅を中心に南北が一本の路線でつながり、市内をシームレスに移動できる公共交通網が整備された。

・南北接続のメリット

- 乗り換えなしで南北移動が可能になり、移動時間短縮
- 通学・通勤者にとって利便性が向上し、利用者増加
- 富山駅周辺の再開発と連携し、駅の利便性向上

統合後の利用者数は、コロナ禍の影響も受けながらも1日あたり約9,000人と安定した推移を見せていた。

富山市では、ライトレールのさらなる活用を目指し、以下の施策を検討・実施している。

(1) 次世代型車両の導入

環境負荷の低減を目的に、電力消費の少ない省エネルギー型車両や、水素・電池式車両の導入を検討。既存の車両更新時に環境性能の高い車両を選定する方針。

(2) 沿線地域の再開発

ライトレールの駅周辺では、「歩いて暮らせるまちづくり」のため、住宅や商業施設の整備が進められている。特に富山駅周辺や岩瀬地区では、公共交通と連携した都市整備が行われ、利便性の高いエリア形成が進行中。

(3) デジタル技術の活用

交通データの収集・分析を強化し、AIを活用したダイヤ最適化やリアルタイム運行情報提供など、より使いやすい公共交通サービスを目指す。

(4) 利用者数の増加に向けた施策

コロナ禍の影響で減少した利用者数を回復させるため、以下の施策を実施中。

- 定期券割引の拡充（学生・高齢者向け）
- 観光利用促進（ライトレールを活用した周遊ルートの設定）
- 地域イベントとの連携（ライトレール沿線でのイベント開催）

富山市のライトレール事業は、単なる交通インフラ整備にとどまらず、「コンパクトシティ」政策の核として、環境負荷低減や都市の活性化に寄与している。**運行本数の増加やバリアフリー化により利便性を向上させた結果、公共交通の利用が促進され、まちの活性化にもつながっていた。

今後も、環境配慮型の次世代車両の導入やデジタル技術の活用により、さらなる利便性向上が期待される。持続可能な都市交通のモデルケースとして、全国の自治体からの視察も多く、今後の発展が注目される取り組みである。

7 所感・考察

今回の視察は公共交通におけるLRTの可能性を主に伺ったが、その取り組みは単にLRTを整備するだけでなく、まちづくり・魅力向上・利便性向上など様々な面からの効果を模索し事業化され実現されており、まさに行政が取り組む公共交通への支援やまちづくりへの姿勢とモチベーションの高さ、将来に対する責任感の強さを痛感する事業であった。米子市では、弓浜地区における道路整備や長年にわたる懸念事項であった市道の一部開通やJR米子駅の南北自由通路開通等、まちづくりの重要な要素である交通網の整備が進みつつある。本市においても富山市のように公共交通を軸とし様々な効果を生み出すべく引き続き研究しながら議会においても提案していきたい。

富山県氷見市

- 1 視察日時 令和7年2月5日 午後3時から午後5時まで
- 2 視察先 氷見市役所
- 3 視察項目 「議会局設置と人事権の確立」
- 4 氷見市について 人口 42,652人
面積 230.54平方キロメートル

5 事業概要

氷見市議会では、議会の組織・機構の改編が進められており、令和5年に議会局を設置された。地方自治における二代表制の一翼を担う議会が、当局の提案に対して多様な視点で臨みつつ、市民ニーズを的確に捉えて市政に反映させる役割を果たすとともに、時代に即した柔軟性と進化を続ける必要があるとの認識に基づき、特に、議会活動のICT化や政策立案・調査機能の強化、法制事務能力の充実を目指し、限られた議員数で効率的に機能する組織づくりを目指し、議会事務局のサポート体制を強化し、議決機関としてのさらなる機能向上を図っている。

6 視察内容

(1) 議会局の設置

従来の議会事務局を「議会局」に名称変更し、単なる事務処理にとどまらず、議会や議員の活動をより積極的にサポートする補佐機能の充実・強化を明確化した。平成28年の地方自治法改正により、議会事務局の役割が「補佐」から「事務」に変更されたが、地方分権が進む中で議会機能の強化が求められる時代において、ルーティンワークに終始するのではなく、より主体的な役割を担う。令和5年4月時点で、議会局を設置している自治体は都県レベルで3（東京都、神奈川県、福井県）自治体、市区レベルで15（横浜市、さいたま市、川崎市など）自治体であり、全国的にも先進的な取り組みである。

(2) 担当制の導入

議会局内に新たに担当制を導入するため、条例改正後速やかに「氷見市議会局における標準的な職を定める規則」を制定し、議事運営や法制事務を担う「議事法務担当」と、政策立案や調査、議会ICT化を推進する「政策調査担当」を新設された。これにより、責任と役割を明確化し、議会に求められる多様な課題に対応する体制を構築された。

7 所感・考察

氷見市議会の改編は、議会が政策立案や市政における能力を高めるための重要な一歩であった。当局側と議会が切磋琢磨し、明確なビジョンを持って地域課題に取り組む姿勢が必要であり、氷見市では、議会局の機能強化と担当制の導入を通じて、市民生活の向上や地域活性化に向けた提案が期待されている。今回の視察を活かし、米子市議会においても、政策立案へ繋がるよう議会事務局の機能を強化し、議会や個々の議員の質を高めていきたい。

行政視察行程（会派：蒼生会 2名）

月 日	行 程	宿 泊 先
2 / 4 (火)	7:30 9:47 10:14 10:59 11:16 12:33 12:35 13:20 米子駅 ===== 岡山駅 ===== 新大阪駅 ===== 敦賀駅 == (昼食) == 敦賀市役所 JR 特急やくも 6号 (岡山行) JR新幹線さくら 542号 (新大阪行) JR特急サンダーバード 19号 (敦賀行) タクシー約 10分	(昼食) 列車内、敦賀駅構内 【タクシー】 敦賀第一交通 (0770) 22-3366 サンキュー (0120) 075-039 海陸タクシー (0770) 22-3123
	◆福井県敦賀市行政視察 午後 1 時 3 0 分から午後 3 時まで 【議会事務局：モモタ様】 ☎：0770-22-8157 【調査項目】「奨学金 300 万円返済金支援 (U ターン促進) 事業」について 【待ち合わせ】(13：20) 場所：敦賀市役所 4F 議会事務局 (福井県敦賀市中央町 2 丁目 1 番 1 号)	【ホテル】現地払い 富山エクセルホテル東急 富山県富山市新富町 1-2-3 ☎：076-441-0109
	15:00 15:10 15:41 17:03 17:05 17:09 【①】 敦賀市役所 ===== 敦賀駅 ===== 富山駅・①・ホテル タクシー約 10分 JR新幹線つるぎ 28号 (富山行) 徒歩約 4分 	
2 / 5 (水)	9:35 9:45 【②】 ホテル ===== ② ===== 富山市役所 富山市送迎 	(昼食) 富山駅周辺 【タクシー】 つばめ交通 (0766)74-0402 高岡交通 (0766)23-1212
	◆富山県富山市行政視察 午前 1 0 時 0 0 分から 1 1 時 3 0 分まで 【議会事務局：キタモリ様】 ☎：076-443-2158 【調査項目】「公共交通計画とその取組、LRT の有効性」について 【待ち合わせ】(9：35) 場所：富山エクセルホテル東急・1F ロビー (迎えに來られます)	【ホテル】現地払い 氷見の旬を食する味わいのホテル「信貴館」 富山県氷見市本町 17-19 ☎：0766-72-3000
	11:30 11:40 13:20 13:37 13:47 14:15 14:17 14:22 【③】 富山市役所 ===== ③ ===== 富山駅 ===== 高岡駅 ===== 氷見駅 ===== 氷見市役所 富山市送迎 あいの風とやま鉄道 (金沢行) JR 氷見線 (氷見行) タクシー約 5分 	
	◆富山県氷見市行政視察 午後 3 時 0 0 分から午後 4 時 3 0 分まで 【議会局：山崎様】 ☎：0766-74-8131 【調査項目】「議会局設置と人事権の確立」について 【待ち合わせ】(14：50) 場所：氷見市役所中央玄関付近 (富山市新桜町 7 番 38 号) 会場は 2F 議会局	
	16:30 16:35 氷見市役所 ===== ホテル タクシー約 5分	
2 / 6 (木)	8:00 8:11 8:22 8:59 9:03 9:06 9:48 11:02 11:14 12:32 12:59 14:02 14:13 16:27 ホテル…④…氷見駅 ===== 高岡駅 ===== 新高岡駅 ===== 敦賀駅 ===== 新大阪駅 ===== 岡山駅 ===== 米子駅 徒歩 11分 氷見線普通 (高岡行) JR 城橋線普通 (城橋行) 新幹線つるぎ 17号 (敦賀行) JR 特急サンダーバード 18号 (大阪行) 新幹線ひかり 507号 特急やくも 15号 ※乗り換えを急いでください	(昼食) 【④】 列車内 

旅費計算表

令和7年2月4日 ～ 令和7年2月6日 (2泊3日)

月 日	区間	鉄道路線 名	区 間 キ ロ 数	目的地までの キ ロ 数	運 賃	グリーン	急 行 料 金		日 当 宿 泊 料		
							特 別	新 幹 線	議員1,500円	甲 14,800円	乙 13,300円
									随 行1,100円	10,900円	9,800円
2/4	米 子 駅 ～ 岡 山 駅	JR	159.1		10,010			2,530	1,500		12,500
(火)	岡 山 駅 ～ 新 大 阪 駅	JR	180.3					2,860			
	新 大 阪 駅 ～ 敦 賀 駅	JR	133.1					2,190			
	(視 察)										
	敦 賀 駅 ～ 富 山 駅	JR	183.7					2,970			
2/5	富 山 駅 ～ 高 岡 駅	私鉄	18.8						1,500		7,000
(水)	高 岡 駅 ～ 氷 見 駅	JR	16.5		330						
2/6	氷 見 駅 ～ 高 岡 駅	JR	16.5		10,010				1,500		
(木)	高 岡 駅 ～ 新 高 岡 駅	JR	1.8								
	新 高 岡 駅 ～ 敦 賀 駅	JR	164.8								
	敦 賀 駅 ～ 新 大 阪 駅	JR	133.1					4,370			
	新 大 阪 駅 ～ 岡 山 駅	JR	180.3					2,860			
	岡 山 駅 ～ 米 子 駅	JR	159.1					2,530			
計	議 員 旅 費			64,660	20,350	0	7,250	13,060	4,500	0	19,500
	随 行 旅 費			0							

出 席 議 員 奥岩議員、塚田議員

議員旅費	64,660	×2名＝	129,320 円
タクシー代			4,790 円
取扱・発券手数料	1,000	×3名＝	3,000 円
土産代			7,496 円
合計			144,606 円

キャンセル料 3,040 円

総計 147,646 円

福井県敦賀市、富山県富山市、富山県氷見市
蒼生会・会派行政視察